

天童市議会だより

2012
8.1
No. 137
TENDO

祝 天童北部小学校 創立記念式



天童北部小学校は、創立30周年を迎え、6月7日に記念式典を挙行了しました。式典の最後に、北部小伝統の北部太鼓が披露され、迫力ある音が体育館に響きました。

6月定例会

特集（議会改革）……………2	提出議案と結果……………11
一般質問……………3～8	行政視察の報告……………12～13
意見書の提出……………8	市民の声……………14
予算特別委員会……………9	

議会改革 3

議会報告・意見交換会を実施します。

議会改革特別委員会において、今年9月の定例会後、中学校区ごとに、議会報告・意見交換会を行うことが決定しました。

議会改革特別委員会は、4月以降、月2回開催し、8項目について検討してきました。検討してきた結果は、表1のとおりです。

7月9日に開催された、第7回委員会において、今年9月の定例会後の10月下旬に、中学校区単位で、地元の議員と、議会報告・意見交換会を開催することを決定しました。

議会報告・意見交換会とは、市政に関する情報を提供し、市民との対話の機会を設け、市民の意見を把握するものです。全国の多くの市議会で行われています。県内でも、酒田市、新庄市、村山市等で行われています。

先進地を視察して、市民の皆さんが集まりやすい議会報告・意見交換会にする予定です。会場や日程が決まり次第お知らせしますので、ぜひ参加してください。

8月以降の議会改革特別委員会の開催予定と検討内容は表2のとおりです。どなたでも傍聴できますのでぜひ議会を傍聴してください。

表1 検討結果

検討した項目	検討結果
常任委員会について	定期開催は行わないが、委員2人以上の要求で、委員会を随時開催できるようにする。
予算特別委員会について	予算審査は、3月補正を除き特別委員会に付託し、多くの議員で審査する。
議員間の討議について	議員2人以上の提案で、議員同士による自由な討議ができる場を設置する。
反問権の付与について	議員の質問と執行部の答弁をかみ合わせるため、また論点を明確にするために、市長（執行部）に反問権を付与することを検討していく。
議会報告会・意見交換会について	議会活動を市民へ直接報告し、市民との意見交換を行うため、議会報告・意見交換会を実施するものとする。今年9月定例会後に試行する。

表2 開催予定と検討項目

開催予定日	検討する項目
8月13日(月)	*夜間、日曜日等の議会・委員会開催について *本会議・委員会の傍聴について（傍聴席の改善等） *議会広報・ホームページについて（賛否の公表等）
8月27日(月)	*議会広報・ホームページについて（賛否の公表等） *正副議長選挙の立候補制について
9月10日(月)	*正副議長選挙の立候補制について *会派について（会派制の是非、3人会派の見直し）
9月18日(火)	*会派について（会派制の是非、3人会派の見直し） *議会事務局体制について
10月1日(月)	*議会事務局体制について *政務調査費について
10月15日(月)	*政務調査費について *議員定数について
11月以降に検討していく項目	
*議員定数について *議員報酬について *議会基本条例について *11月以降の開催日と協議内容の予定は、10月上旬に決定します。	
*会議は全て、午後3時開会です。 *一般傍聴席は先着順で20席です。傍聴希望者は、会議開始10分前までに所定の受付をしてから入室してください。また、会議中は休憩時を除き入退室できませんのでご注意ください。	

6 月 定 例 会

審議日程

平成24年度第2回市議会定例会（6月定例会）は、6月7日から21日までの15日間の会期で開かれました。

市長提出の報告7件、人事議案1件は、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、予算議案2件と一般議案2件については、予算特別委員会と所管常任委員会に付託され、各委員会で審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。

また、最終日の本会議に請負契約の締結議案4件、委員会提出議案1件及び議員提出議案2件が提出され、それぞれ採決が行われました。（採決結果は11ページ、意見書は8ページ、請願審査結果は14ページに掲載してあります。）

月 日	内 容
6.7(木)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）
6.11(月) 6.12(火)	本会議（市政に対する一般質問）
6.13(水)	環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
6.14(木)	経済建設常任委員会（付託案件の審査）
6.15(金)	予算特別委員会（付託案件の審査）
6.18(月)	予算特別委員会（討論、採決）
6.21(木)	本会議（委員長報告、追加議案の提案理由、質疑、討論、採決など）

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、6月11日、12日の2日間の日程で、14人の議員が行いました。

11月に予定されている市長選挙再出馬をはじめ、行財政改革や芳賀開発のほか、学校教育等について、市長、教育長等の見解を求めました。

天童高原

天童高原の再開発について



狩野佳和議員

天童高原は自然豊かで風光明媚である。

①市民農園の構想があるが「無農薬自然栽培（里山農法）農園」に特化し、②施設の電気は再生可能エネルギーでまかない、自然に優しい天童高原に特化して観光客がたくさん訪れる場所にすべきと考えるが、どうか。

山本市長 天童高原の整備については、整備開発懇談会や、地元田麦野地区の懇談会などを開催し、貴重なご意見をいただいている。

天童高原の自然環境や景観を活かしながら、「憩いの場」「健康づくりの場」、そして「教育の場」としての整備を図りたい。天童高原の運営については、牧野公社の解散に伴い、今後2年間は直営で運

営していく考えである。この2年間の中で、地域の方々や関係者の方々との協力体制を構築し、最もふさわしい民間組織へ委託してまいりたい。今後の新たな取り組みとして、高原野菜の栽培等を行う市民農園を計画している。将来的には、無農薬市民農園として、付加価値を高められるよう検討したい。地域の特性に応じた再生可能エネルギーの導入については、一つのご提案として検討していきたい。



▲今年5月、634の松交流イベントでにぎわう天童高原

質問者と質問事項 (☆印は会派名)

★民主市民クラブ

狩野佳和議員

* 行財政改革の推進について

* 天童高原について

海鋒孝志議員

* 市長の行政手法と考え方について

* 事業推進の目的と達成後の姿について

* 重要事業要望について

★清新会

伊藤護國議員

* 市長選について

* スポーツ振興について

* 市民の人材育成について

武田正二議員

* 災害に強い市の防災体制について

* にぎわう観光づくりについて

水戸芳美議員

* 防災対策について

* 少子化対策について

* 観光について

遠藤敬知議員

* 市役所改革について

* 放課後児童クラブについて

* インフラ整備について

矢萩武昭議員

* 新たな行財政改革への取り組みについて

山口桂子議員

* 生きる力をはぐくむ学校

★自公・政和会

* 教育について

* エコと環境について

松田光也議員

* 子どもたちの安全安心な環境と一人ひとりが豊かな感性と能力を発揮できる保育について

* 通学路の安全確保について

結城義巳議員

* 定住促進策について

* 行財政改革について

後藤和信議員

* 野生鳥獣の被害防止について

* 成年後見制度の充実について

★会派に属しない議員

茂木孝雄議員

* 天童市の学校教育について

* 市民が誇れる、文化的な天童のまちづくりについて

石垣昭一議員

* 脱原発と再生可能な自然エネルギー政策の推進について

伊藤和子議員

* 芳賀の新駅設置について

* 障害者自立支援法による市民への影響について

芳賀開発

芳賀新駅、

イオン進出の状況は



海鋒孝志議員

芳賀新駅建設の決定はいつになるのか。

援を約束した芳賀土地地区画整理事業であり、市民に正確な情報を公開すべきと思うがどうか。

か。また、イオンモールの進出計画についても土地売買と賃貸契約が完了していると聞

は、J R 東日本仙台支社に基

は、J R の決断後、国土交通大臣の認可が必要となる。新駅設置が早期実現となるよう、J R と引き続き協議を進めていきたい。

大型商業施設については、イオンモールと芳賀土地地区画整理組合との間で、保留地売買の契約を今年3月に締結している。イオンモールでは、芳賀を「全国の出店候補地の1つ」と位置付けており、現在は出店時期等について、区画整理組合と協議をしている。段階と伺っている。

市長選挙

市長の再選出馬について



伊藤護國議員

山本市長は、平成20年12月の市長選

れた。今年末に予定されている市長選への再選出馬について市長の決意を伺いたい。

で「子育て支援」「観光・も

山本市長 当選以来、マニ

区画整理、天童高原の再生など、引き続き取り組まなければならない多くの課題が残っている。この残った課題の解決を図り、次代に引き継ぐ責務をしっかりと受け止め、2期目の市長選挙に出馬する決意を固めた次第である。

山本市長 防災専門指導員の設置目的は、本市の防災及び危機管理業務について、市民の安全・安心に寄与すること

水戸部教育長 災害時の児童・生徒の下校体制については、学校ごとに地域の実情に合わせた防災計画等を定めている。その計画をもとに、災害に

防災体制

災害に強い

市の防災体制について



武田正二議員

今年度、市では防災専門指導員の配置

を予定しているようだが、その目的と職務内容はどのようなものか、大規模災害発生時の市内の企業との連携体制はどうなっているのか。また、児童・生徒の下校の安全をどう確保し、保護者との連携したマニュアルは作成しているのか。

害時に備え、市民の安全・安心を守るため、多くの機関や企業との間に、水道施設復旧応援協定など、多様な災害協定を結んでいる。災害時の一時避難場所や収容施設の体制強化については、今後、地域の要望を踏まえ、協力いただける企業等と連携を図ってきたい。

山本市長 防災専門指導員の設置目的は、本市の防災及び危機管理業務について、市民の安全・安心に寄与すること

水戸部教育長 災害時の児童・生徒の下校体制については、学校ごとに地域の実情に合わせた防災計画等を定めている。その計画をもとに、災害に



▲災害に備え、一時避難の訓練を行う

少子化対策として

婚活推進を



水戸芳美議員

年々、出生数が減少している。結婚は

したいが相手が見つからないという人も多い。一組でも多くのカップルが誕生できるように、日本の優れた伝統でもあり、男女の仲を取り持つてくれる「仲人」に、成婚した場

合に助成できないか。また、会社や各種団体での婚活イベントに助成できないか。

山本市長 本市では、県と連携しながら、NPO等の民間団体が行っている婚活支援事業を、市ホームページに掲載し、パンフレットを市役所1階の市民ホールに備えている。仲人への支援及び助成に

については、個人情報取扱いについての課題等も懸念されるため、助成については難しいと考えている。仲人間の情報交換については、県が実施しているやまがた結婚サポートセンターで実施しているのでも、市としても積極的に連携していきたい。

また、市内で婚活支援を行っている団体への支援については、今後実施団体と意見交換などを行いながら、財政的な支援も含めて検討していきたい。

新たな行革への

取り組み体制は



矢萩武昭議員

市長は、新年度にさらなる改革に取り

組むこととし、「行財政改革推進監（部長級）」を配置した。ところが、4階の改革本部には推進監が1名配置されているだけで、他の職員は3階の職員の兼務体制と聞く。こうした体制で、真の改革ができるのか甚だ疑問であるが市長はどう考えるのか。

山本市長 行財政改革推進のためには、市役所内の意思統一を図ることが重要である。「強いリーダーシップ」と、「首尾一貫した組織体制」を堅持し、「危機感と行革の意識」を職員と共有しながら、市役所が一丸となって改革を推進していく考えである。

この改革を推進するため、専任の部長級の職員を、行財政改革推進監に任命し配置したところである。職員体制に



▲行政サービスの向上を図るため、行財政改革を推進します

児童クラブ施設の

格差解消について



遠藤敬知議員

児童クラブは、家庭に代

わる毎日の生活の場である。運営される側の不安や諸問題解決のため、早急にガイドラインを示すべきでないか。公設の施設ながら格差が著しく、子どもたちが安心して楽しく過ごせるよ

う、一括施設整備すべきと思うが市長の考えは。

山本市長 放課後児童クラブは、現在、市内に20カ所開設されており、利用児童数は約750人になっている。

国は、平成19年度に放課後児童クラブガイドラインを策定し、施設の規模や児童1人当たりの広さなどについての

基準を示している。市では、このガイドラインを事業の指針として実施しているところである。

現在の20施設の中には、小学校体育館の2階ギャラリーや市立公民館の一部を利用しているものもある。入所児童数が開所当時に比べて増加したことなどにより、児童の生活スペースは、必ずしも十分ではない状況も認識している。

今後、国や県の補助金を活用しながら、財政状況を踏まえて整備を進めていきたい。

「親学のすすめ」について



山口桂子議員

第二次世界
大戦後、家庭
教育と社会教

育、学校教育の面がおろそかにされてきた。母親・父親としての自覚を促す講座の開催など、子と共に親が成長するために行政がもっと支援するべきではないか。「親守歌」

等を、親子の絆を深められるように導入し、活用してはどうか。

水戸部教育長 県では、家庭及び地域の教育力の向上を図るため、平成11年度から家庭教育推進事業を実施し、親に対して、家庭教育の充実を図るための施策を展開している。本市も、この事業を活用

し、小中学校のPTAが主催する講演会の開催費用を補助している。今年度は、放課後児童クラブの講演会にも支援を行う予定である。

明星大学の高橋教授は、子どもから親への感謝の気持ちで短歌や唄につづった「親守歌」を提唱している。子どもたちの健全育成を図るため、親が親として成長していくためのこうした情報を提供していきたい。

注 「親守歌」とは、子守歌の逆で「子どもが親を想って作る短歌や唄」である。

市街化区域・調整区域の線引き廃止を



結城義巳議員

市街化区域
と市街化調整
区域の線引き

は、土地が虫喰い状態に開発されるのを防ぐなど、長い間、役割を果たしてきた。下水道の整備もほとんど完了した現在、線引きは廃止してもよいのではないかと。周辺部の開発も可能になり、農村部の過疎化対策にもなると思うが、市長の考えはどうか。

山本市長 市街化区域と市街化調整区域とに区分することのメリットは、計画的、集中的に市街地を整備し、将来的な都市の維持管理コストの抑制が図られることにある。虫喰い型の無秩序な土地利用を抑制することが可能で、農業との調整措置により産業間の調和のとれた土地利用を図ることができると。デメリットとしては、市街化調整区域に区分された周辺集落部の人口減

少や地域活力の低下につながっていることがあげられる。これまで、市では、線引きによる都市計画を行い、居住地域や農業、商工業が秩序ある発展を続けてきた。その結果、下水道をはじめとする都市施設の整備率は高い水準を保っており、線引きによる都市計画は大きな役割を担ってきたと考えている。

しかし、人口減少の現在においては、都市計画の手法を見直す時期にきていると認識している。本市の今後の発展、開発の方向性を探るために、土地利用の基本的な考え方について、議論を重ねながら見極めていきたい。

成生児童館の現状と改築について



松田光也議員

昭和46年開
設した成生児
童館は41年目

を迎えた。他の児童館は、すでに17年前や19年前に耐震基準を満たした立派な児童館を新築している。成生児童館のみ耐震補強で済まされるとするならば、誠に不公平な状況

改築について

ではないのか。子育て日本一を掲げている市長に、成生児童館の改築について伺いたい。

山本市長 昭和46年に開設し、築後41年を経過した成生児童館については、保育に支障をきたすことがないよう、平成16年・17年には大規模な床の改修工事を行っている。今年度は、児童の安全・安心

を確保するために、壁を筋交いで補強する耐震改修工事を行う予定である。

国は幼児期の教育と保育を一体的に提供する「総合子ども園」の創設を目指している。子どもを保育する施設の仕組みが大きく変わることも予想され、成生児童館の改築については、国の動向等を注視しながら、児童館のあり方や市全体の保育施設整備について研究する中で、改築に向けた方向性を見出す必要があると考えている。



▲計画的に開発されたまちなみ

市民後見人の育成について



後藤和信議員
成年後見制度が発足して12年を迎え、

人制度が注目されている。市民後見人の育成についてどう考えているのか。

急速な高齢化による認知症の高齢者の増加が予想される。今後介護サービスの利用計画などを本人に代わって支援するなど、身近な市民が専門的な知識を身に付けた市民後見

山本市長 市民後見人は、日常的な金銭管理や安定的な身上監護等を中心に、一般的には難易度の低い事案を本人に代わって行う場合を想定している。本市においては、現在、近

隣のNPO法人が開催する養成研修講座への参加の周知を行っている。また、天童市社会福祉協議会の法人後見取得を支援しながら、取得後に天童市社会福祉協議会が中心となつて、必要な養成研修講座を開催できないか協議していきたい。

市総合福祉センターに設置している地域包括支援センターが相談窓口となつて、成年後見制度についての相談業務や、手続きの支援などを行っている。

再生可能な自然エネルギーについて



石垣昭一議員
県はエネルギー戦略を今年3月に策定

し、再生可能エネルギー等の導入推進を積極的に打ち出している。地域の特性を踏まえ、市民、事業者、行政が一体となり自然エネルギーの導入計画、地域新エネルギービジョンを策定することが必要と思うが、本市では、どう推進するのか。

中学校

中学校の

学区制緩和について



茂木孝雄議員
日本人の学力が低下している。学力は

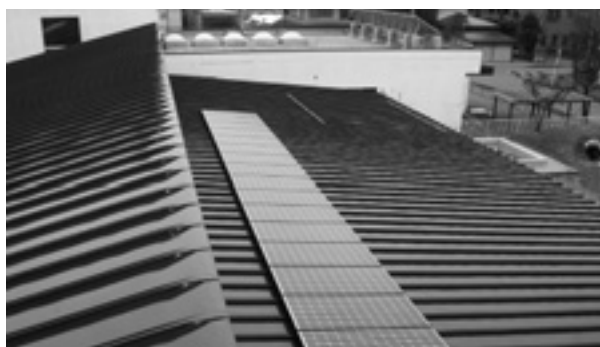
の向上、特長ある中学校経営を進め、生徒の未来への可能性を拡げてほしい。

自分を活かす大事な「道具」。天童の子どもたちの学力は満足できる水準なのか。特に中学校の学区制には課題がある。学校の選択枠を設け、生徒の通学負担軽減と学習意欲

水戸部教育長 全国標準学力検査での本市の児童・生徒の状況は、全教科において学力偏差値が全国基準を上回る水準にある。今後は、学習面で難しさを抱えている児童・生徒の支援のほか、成績上位

の児童・生徒はさらに力を伸ばせる手立てをし、一人ひとりが力をつけ、自分の可能性を見出せる教育を目指していきたい。家庭、地域においても教育力の高揚を期待している。確かな学力と家庭・地域の関わりを見直し、新たな取り組みを推進したい。

また、学区制の緩和については、公立学校のもつ「公平性」や「地域性」を基本にしながら、通学区の弾力的運用などについて、幅広く研究していきたいと考えている。



▲市保育園等の公共施設に太陽光発電システムを設置

本市では、今年度から国の「再生可能エネルギー等導入地方公共団体支援基金事業」を活用し、消防署などの公共施設に、太陽光発電システムと蓄電設備の整備をさらに推進する。また、住宅用太陽光発電システム設置者に対する補助制度を継続し、再生可能エネルギーの導入を推進していく考えである。

新駅設置の調査結果と 市民の合意形成は



伊藤和子議員

昨年度、8

50万円の予

算で、奥羽本

線高橋・天童間新駅設置基本
計画調査を委託したが、調査
結果は。また、鉄道施設の総
工事費やその他必要経費と費
用負担は。
市民に対して、新駅構想の

説明はなされていない。市民

の合意形成をどう図るのか。

山本市長 新駅設置基本計画

調査の結果、JR側からは、

新駅設置は技術的に可能であ
ると示された。新駅設置実現
のため、今後の検討課題とし
て、天童南部地区や県総合運
動公園から利用しやすい環境
を整備すること、バスの運行

等を工夫して利用者の増加を

図ることなどがあげられてい

る。新駅設置の工事費は約2

億2300万円、加えて関連

費用は約2億円と見込まれる。

各駅では、朝晩、自家用車

で大変混雑している。芳賀地

区に新駅ができれば、これら

の混雑の解消が期待されるほ

か、駅周辺に居住する市民の

利便性が高まり、満足してい

ただけのものと考えている。

今後、機会をとらえて、市民

に対し、新駅設置計画を周知

していきたい。

討 論

6月21日の本会議におい
て、議員提出意見書について

討論が行われました。

採決の結果、賛成多数で可

決されました。

▼議員提出議案第1号尖閣諸

島の実効支配を推進するた

めの法整備を求める意見書

の提出について

〈反対〉伊藤和子議員

尖閣諸島は歴史的にも、国

際法上も明白な日本の領有で

ある。尖閣諸島をめぐる問題

解決のためには、日本政府が

中国政府、国際社会に対し

て、理を尽くして主張すべき

である。しかし、歴代の日本

政府は日本の領有の正当性を

主張してこなかった。

意見書は新たな法整備を求

めるものだが、逆に緊張を高

めることになり、解決が遠の

いてしまうのではと懸念する

もので、意見書の提出に反対

する。

意見書の提出

6月21日の本会議最終日に

委員会提出意見書1件と議員

提出意見書2件が提出され、

採決の結果可決されました。

意見書は直ちに関係機関に送

付されました。

《委員会提案》

▼脳脊髄液減少症の医療に関

する意見書（要約）

脳脊髄液減少症の治療とし

て、ブラッドパッチ療法を全

面的に保険適用するとともに
に、厚生労働省の研究班が設
置されている山形大学医学部
の治療研究の募集を広く公表
すること。
（提出先：厚生労働大臣ほか）

《議員提出》

▼尖閣諸島の実効支配を推進

するための法整備を求める

意見書（要約）

尖閣諸島は、わが国固有の

領土である。わが国の領土・

主権を毅然たる態度で守る意

思を内外に明確に示すため

に必要な法整備を速やかに講
じ、国による土地収用にかか
わる措置等をとること。
（提出先：防衛大臣ほか）

▼北朝鮮による日本人拉致問

題の早期解決を求める意見

書（要約）

北朝鮮による拉致問題は重

大な主権侵害であり、かつ許

し難い人権侵害であることを

政府は肝に銘じ、国家の尊厳

と国民の人権を守るため、全

精力を傾け、全ての拉致被害

者を早急に救出すること。

（提出先：外務大臣ほか）

天童市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

現固定資産評価審査委員会委員の楯悟朗氏
（蔵増）が、平成24年6月30日をもって任期
満了になることに伴い、再び同氏を選任する
ことに同意しました。

永年勤続表彰

5月23日に開催された全国市議会議長会定
期総会において、永年勤続として次の方々
が表彰されました。

◇議員20年以上

浅井 健一 議員（H3.10～）

◇議長・副議長4年以上

伊藤 護國 議員

感謝状

全国市議会議長会の評議員及び国と地方の
協議の場等に関する特別委員会委員としての
功績に対して、伊藤護國議員と水戸保議員に
感謝状が贈られました。



予算特別委員会

平成24年度一般会計補正予算 1億676万5000円を 増額補正

一般会計1億676万5000円を追加する補正予算及び国民健康保険特別会計37万8000円を追加する補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。審査の主なものは次のとおりです。

消防庁舎に設置する 太陽光発電等の内容は

委員 消防庁舎に太陽光発電設備等を2231万円で整備するが、規模と発電量をどのくらい見込むのか。

消防課長 防災拠点施設として、県の再生可能エネルギー導入事業費補助金1800万円を活用し、10キロワットの発電パネルを設置する。蓄電池設備も付設し、停電時にも対応する。

年間使用電気量の10%程度の発電を予測している。

公民館整備費 補助金の内容は

委員 公民館整備費補助金141万円の内容は、

生涯学習課長 整備の内容は、10分館の耐震診断補助金66万円と、1分館の耐震改修工事補助金75万円である。耐震診断の費用は、木造の場合、10

万〜20万円かかるため、費用の3分の1または10万円を上限に助成するもの。改修工事は、費用の2分の1または150万円を上限に助成するものである。

西沼田遺跡公園の 修繕内容は

委員 西沼田遺跡公園の修繕料197万7000円の内容は。

生涯学習課長 4月4日に発生した低気圧の強風による風害のため、生垣150メートルのほかに、木橋の修繕を行うものがある。

旧東村山郡役所資料館 の修繕内容は

委員 豪雪により旧東村山郡役所資料館が破損したため、修繕を要することだが、その内容は。

文化スポーツ課長 雪害によ

り破損した屋根瓦、漆喰、雨樋の修理を行う。修繕費は106万1000円で、全額建物共済金を充てる。

緊急県産稲わら確保 対策事業の補助団体は

委員 緊急県産稲わら確保対策事業497万7000円について、どこの団体が申請するのか。

農林課長 全体で5つの団体から要望が出ている。蔵増地区から3つ、高掬地区から1つ、山口地区から1つの利用組合が申請を予定している。

除雪車両購入の内容は

委員 7000万円で除雪車を購入する計画だが、その内容は。

建設課長 今冬の大雪で、狭い道路の除雪に苦労したことから、除雪車を購入するもの。除雪は、全路線を業者に委託しているが、汎用性の少ない車両なので、市が購入して業者に貸し出すもの。

購入する車両は、80馬力のロータリー車2台（1台1760万円）と、除雪ドーザー車2台（1台1740万円）。

一般会計補正予算(第2号)あらかし

補正額 1億 676万5000円
予算総額 202億8566万9000円

◆主な内容 (単位：千円)

野菜・花きの振興に要する経費	1,284
畜産振興一般に要する経費	4,977
道路の管理に要する経費	70,000
消防庁舎の管理に要する経費	22,310
公民館の管理運営に要する経費	1,410
西沼田遺跡公園の管理運営に要する経費	1,977
東村山郡役所資料館の管理運営に要する経費	1,061

国民健康保険特別会計補正 予算(第1号)あらかし

補正額 37万8000円
予算総額 64億7105万7000円

◆主な内容 (単位：千円)

国民健康保険の一般事務に要する経費	378
-------------------	-----

表1 政務調査費の主な使途基準

科目	内容
調査研究費	会派が行う調査研究活動のために必要な先進地調査若しくは現地調査に要する経費及び会派が研究会等を開催するために必要な経費又は会派に所属する議員等が他の団体の開催する研究会等に参加するために要する経費(交通費、旅費、宿泊費等)
資料作成費	会派が行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費(印刷製本費、翻訳料、事務機器購入費、リース料等)
資料購入費	会派が行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
広報費	会派が行う調査研究活動及び議員活動並びに市の政策について住民に報告し、広報するために要する経費(広報紙作成費等)
広聴費	会派が住民からの市政、会派の政策等に対する要望、意見を聴くための会議等に要する経費(会場費、印刷費、茶菓子代等)
人件費	会派が行う調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	会派が行う調査研究活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費
その他の経費	上記以外の経費で会派の行う調査研究活動に必要な経費

政務調査費とは、議員の調査研究活動の充実を図るため、必要な経費の一部として議員に対し交付されるものです。政務調査費の使途基準については、表1のとおりです。

本市では、各会派に対し、所属議員一人当たり月1万3000円(年額15万6000円)を、4月に1年分を交付しております。政務調査費の交付を受けた会派は、年度末に収支報告書を議長に提出し、不用額については返還することになります。

平成23年度分の収支報告は、表2のとおりです。なお、平成23年度は、改選期であったため、前期(4月から9月まで)と後期(10月から平成24年3月まで)に分かれています。

表2 収支報告(平成23年度分)

1 平成23年4月～9月(定数22名:議員数21名)

No.	会派(代表・人数等)	交付額(円)	科目(円)				返還額(円)
			調査研究費	資料作成費	資料購入費	合計	
1	かがやき(秋葉忠・9名)	702,000	0	0	0	0	702,000
2	政和会(水戸保・6名)	468,000	405,600	0	0	405,600	62,400
3	民主天童クラブ(狩野佳和・2名)	156,000	0	0	0	0	156,000
4	日本共産党天童市議団(石垣昭一・2名)	156,000	0	0	0	0	156,000
5	小澤 精(無会派)	78,000	0	0	0	0	78,000
6	伊藤護國(議長・無会派)	78,000	0	0	0	0	78,000
合計		1,638,000	405,600	0	0	405,600	1,232,400

2 平成23年10月～平成24年3月(定数22名:議員数22名)

No.	会派(代表・人数等)	交付額(円)	科目(円)				返還額(円)
			調査研究費	資料作成費	資料購入費	合計	
1	清新会(伊藤護國・11名)	858,000	518,580	1,987	58,195	578,762	279,238
2	自公・政和会(結城義巳・4名)	312,000	218,260	428	0	218,688	93,312
3	民主市民クラブ(狩野佳和・3名)	234,000	23,860	70	0	23,930	210,070
4	茂木孝雄(無会派)	78,000	45,261	0	29,400	74,661	3,339
5	石垣昭一(無会派)	78,000	0	0	0	0	78,000
6	伊藤和子(無会派)	78,000	0	0	0	0	78,000
7	水戸 保(議長・無会派)	78,000	0	0	35,930	35,930	42,070
合計		1,716,000	805,961	2,485	123,525	931,971	784,029

議会のうごき

■4月

25日 経済建設常任委員会所管現場視察

■5月

2日 各派代表者会

8日～10日 総務教育常任委員会行政視察(太田市、富士見市、小諸市)

9日～11日 環境福祉常任委員会行政視察(今治市、呉市、倉敷市)、経済建設常任委員会行政視察(霧島市、出水市、宇城市)

14日 議会改革特別委員会(常任委員会について外)

15日 環境福祉常任委員会所管事務調査(放課後児童クラブについて)

18日 市長要請全員協議会(公社等の事業報告及び事業計画について)、全員協議会(議会改革、クリーンピアについて)

22日 市長要請総務教育常任委員会(投票所の見直しについて)

22日～25日 全国温泉所在地都市議会議長協議会総会、全国議会議長会定期総会、市議会議員共済会代議員会(議長、局長/日比谷公会堂ほか)

28日 議会改革特別委員会(常任委員会について外)

29日 市長要請経済建設常任委員会(防災調整池の整備について外)

31日 議会運営委員会

■6月

4日 議会改革特別委員会(議員間討議について外)

7日 広報委員会

7日～21日 第2回市議会定例会

13日 市長要請全員協議会(クリーンピアにおける災害廃棄物の受入れについて)、各派代表者会

14日 総務教育常任委員会所管事務調査(外国語学習について外)

17日～18日 さくらんぼトップセールス(議長、市長/新宿小田急百貨店ほか)

19日 各派代表者会

21日 市長要請全員協議会(行財政改革の進捗状況について)、広報委員会

25日 議会改革特別委員会(市長への反問権の付与について外)

■7月

4日 広報委員会

9日 議会改革特別委員会(議会報告会について外)

10日～12日 自公・政和会行政視察(登別市、苫小牧市、旭川市)

18日 広報委員会

23日 議会改革特別委員会(市民アンケートについて外)

提出された議案とその結果

〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第4号	平成23年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第5号	平成23年度天童市水道事業会計予算繰越しの報告について	報告
報第6号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第7号	財団法人天童市牧野公社の経営状況の報告について	報告
報第8号	公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第9号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第10号	平成23年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報告
議第3号	平成24年度天童市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第4号	平成24年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第5号	荒谷西工業団地の分譲地の処分について	原案可決 (全会一致)
議第6号	市道の認定及び廃止について	原案可決 (全会一致)
議第7号	天童市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 (全会一致)
議第8号	消防救急デジタル無線施設整備工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第9号	天童市立第一中学校改築建築主体工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第10号	天童市立第一中学校改築機械設備工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議第11号	天童市立第一中学校改築電気設備工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第1号	脳脊髄液減少症の医療に関する意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

〈議員提出議案〉

議案番号	件名	結果
議員提出議案第1号	尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書の提出について	原案可決 (賛成多数)
議員提出議案第2号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

〈議員の派遣〉

件名	結果
市民訪問団を派遣して友好親善、交流促進を図るため、9月5日から12日までの8日間、イタリア・マロスティカ市に水戸保議員を派遣する	可決 (全会一致)

第1回臨時会(4月24日)

議案番号	件名	結果
報第1号	平成23年度天童市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認を求めることについて	承認
報第2号	平成23年度天童市水道事業会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて	承認
報第3号	天童市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認
議第1号	平成24年度天童市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第2号	天童市市税条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)

第1回臨時会

平成24年度第1回市議会臨時会が4月24日に開催され、

専決処分の承認3件、予算議案1件及び条例議案1件が審議され承認・可決されました。

▼報第1号 平成23年度天童市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認を求めることについて

▼報第2号 平成23年度天童市水道事業会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて

▼報第3号 天童市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

▼議第1号 平成24年度天童市一般会計補正予算(第1号) Ⅱ子ども手当に替わって支給される児童手当の事務に要する経費など890万4000円を追加するもの。

▼議第2号 天童市市税条例の一部改正について Ⅱ地方税法の一部改正に伴う、年金所得者の寡婦(寡夫)控除に係る市民税の申告手続きの簡素化などを行うもの。

視察の報告

本市議会では、先進的で魅力ある行政施策を実施している自治体などへの視察を行っております。

行政視察の成果は、市議会の中で、本市が抱える行政課題の解決や、市への提言等に反映され、今後のまちづくりに生かされています。

今回実施した行政視察の内容をご報告します。

総務教育常任委員会

5月8日～10日

《群馬県太田市》

外国語教育特区について

太田市は輸送機器産業を中心とした工業都市で、人口は約22万人である。



▲外国語教育特区の認定校を視察（太田市）

平成15年4月、太田外国語（英語）教育特区構想が第1号認定を受け、平成17年4月にぐんま国際アカデミー（小中高一貫）が誕生した。実践的なコミュニケーション能力を身につけた国際人の育成を目標としている。本市においても、特色ある教育の展開を期待したい。

1%まちづくり事業について

平成18年度から実施しているこの事業は、市税の1%程度を財源として、自治組織等が実施するまちづくり事業に対して、補助金を支給するものとなる。住民と行政が一体となり地域活性化に取り組む

参考となった。

《埼玉県富士見市》

事業仕分けについて

富士見市の人口は約10万6000人。この事業は、平成20年8月に就任した現市長のマニフェストに基づき平成21年度から実施している。事業の特徴は、無作為抽出した市民判定人10000人の中から、市民判定人の応募を受け付けているところである。平成22年度から24年度までの予算において、約5000万円を削減した成果をあげた。事業開始当初は、市民からの注目度も実績も大きかったが、年々、事業仕分けの対象となる事業の選定等、毎年継続する難しさを感じていた。

《長野県小諸市》

選挙投票所の見直しについて

文学のまちで有名な人口約4万3000人の小諸市は、平成22年3月に、投票所を43投票区から21投票区に再編した。投票区編成の見直しにあたっては、1投票所の有権者数を1500人程度とし、公的施設を投票所に指定することにより、投票所内のバリアフリー化や駐車場の確保等に努めている。

投票所再編の結果、投票率に直接的な影響は見られず、期日前投票者数の増加や、選挙経費の縮減に効果があった。本市も投票所の見直しを予定しているので参考とした。

環境福祉常任委員会

5月9日～11日

《愛媛県今治市》

高齢者福祉について

タオルの生産で有名な今治市は、人口約16万人で、高齢化率28・4%と天童市より高齢化しており、生活支援・

安否確認事業や生きがい活動支援事業、在宅介護支援事業など高齢者福祉事業に力を入れている。

在宅高齢者介護激励金制度は、介護期間1か月以上、要介護度3・4・5が対象で、

《広島県呉市》

国民健康保険医療費削減策

造船で有名な呉市は、人口

約24万人で、電子化されたレセプトデータの分析からジェネリック医薬品への切り替えにいち早く取り組み、医師会の協力を得て1年間に1億2000万円の削減効果をもたらした。また、人工透析予備軍の糖尿病性腎症の患者に日常生活や投薬指導などの学習プログラムを提供して、重症

常任委員会	視察先	視察内容
総務教育 常任委員会	群馬県太田市	外国語教育特区・小中学校英語教育について 1%まちづくり事業について
	埼玉県富士見市	市民判定人による事業仕分けについて
	長野県小諸市	選挙投票所の見直しについて 選挙投開票事務について
環境福祉 常任委員会	愛媛県今治市	高齢者福祉について
	広島県呉市	国民健康保険医療費削減策について
	岡山県倉敷市	地球温暖化対策について
経済建設 常任委員会	鹿児島県霧島市	観光振興（広域観光）策について
	鹿児島県出水市	定住促進事業について
	熊本県宇城市	地域ブランド推進事業について

常任委員会

行政

化の予防と日常生活の質の向上を図っている。広島大学や地元の医師会等と行政の協力関係がうまく機能していた。医療費削減の試みとして、検討すべき課題である。

《岡山県倉敷市》

地球温暖化対策

白壁の町並みの美観地区で

有名な倉敷市は、人口約47万人で、倉敷市地球温暖化対策実行計画の運用や住宅用太陽光発電システムへの設置補助、各小中学校への出前講座の開催と夏休み中の省エネ生活の発表（エコライフチャレンジ）など幅広く取り組んでいる。特に水島臨海工業地域に電

気自動車メーカーが立地していることもあり、電気自動車の導入（公用車21台・市民と県外からの観光客への貸し出し3台）を通じて電気自動車の普及モデル事業を展開している。本市においても取り組む意義があると思う。急速充電設備も民間が主になって整備が進んでいた。



▲太陽光発電システム設置状況を視察（倉敷市）

経済建設常任委員会

5月9日～11日

《鹿児島県霧島市》

観光振興（広域観光）策

天孫降臨の伝説で有名な高千穂峰を含む霧島連山がそびえる人口約12万7000人の霧島市では、霧島山を囲む5市2町で、任意の自治体連合である「環霧島会議」を設立し、事業の一つとして「環霧島周遊列車」のモニター運行を実施し、今年度は年4回の運行が計画されていた。

また、ユネスコが支援しながら美しい地形などを保全しようとするジオパークの認定を受けた「霧島ジオパーク」



▲定住促進事業について視察（出水市）

としてガイドの養成や一般向けの様々な講座を開催し霧島連山の魅力の発信を行っており、広域観光の参考となった。

《鹿児島県出水市》

定住促進事業

ツルの飛来地で有名な出水市は人口約5万5000人、平成18年に1市2町で合併したが、人口の減少に苦慮していた。

定住促進事業として、市外からの定住を目的に住宅を取得された方に3年間で50万円、さらに16歳未満の子どもがいれば2倍の100万円の補助金を交付しており、23年度には33件と申請件数は年々増加していた。

また、転入者が市外の事業所に公共機関を利用して通勤する場合に最大月1万円の通勤補助も出しており、有効な事業と感じた。

《熊本県宇城市》

地域ブランド推進事業

人口約6万2000人の宇城市は、海から山へとつながる地域で、海や山のそれぞれの地域の食材を使った弁当の販売、港町ならではの料理の提供で入込み客数の増加を狙っている。宇城市の持つ価値への理解と郷土への誇りを育て、担い手を創出することも目標とする。

また、「企業マルシェ」の開催として首都圏のビルの一角を借り、交流のある青山学院大生を売り子に使うなどして直売イベントを開催し特産品をPRしていた。本市でも、トップセールス等にも明治大学と連携してほしい。

市民の声

天童市に「終の棲家」と移り住んで十数年…私が住まいしている町は、他の市町村から移り住んでいる方が多い新しい町内・南町です。

町内女性クラブの集会の中で「いつも住み良い・明るく・安全で安心できる町内ではないわね」から市政が話題になり、心動かされ、町内女性クラブの方々と市議会の傍聴に出かけました。

初めての体験に、神聖な想いが自然と姿勢を凛とさせます。市議会では、市長はじめ議員の方々の、さらに住み良い天童市にすべくとの想いが伝わりました。その中で主婦感覚ですが、世間に聞こえてくるさまざまな話題も、「実はこのように質疑応答されているのね」「色々大変なことが山積みなのね」

市議会を傍聴して感じること

近藤洋子 (65歳・南町)

「えっ！そういうことではないのかしら？」と色々なことに気付かされました。また、私の年齢のせいでしょうか、聞き取りにくい箇所もあり残念なこともありましたが、同じ空間を共有し、直接聞くことができたからこそ知りえた状況といます。

「できることなら気軽に話ができることなら気軽に話ができる、議員の方が直接市民の声に耳を傾ける機会・場所があるといいのね」と帰りの車中で話しが弾みました。今まで私自身もそれを、一歩踏み出し一人でも多くの方が傍聴に出かけ、そこから感じ・見えてくることで参加し、市民・市議会の距離が近くなれば、「天童っていい町よ！住みたい町！」そんな希望ある町に近づく気がするの、初めて市議会を傍聴した私たちが感じるのでしょうか。

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は1件で、所管常任委員会で審査したあと、本会議で採決が行われました。結果は次のようになります。

件名	提出者	付託委員会	結果
脳脊髄液減少症の医療に関する請願書	脳脊髄液減少症友の会 代表 荒川ミキ子	環境福祉	採択 (全会一致)

インターネットで議会中継

天童市議会では、本会議をインターネットで生中継しています。生中継の約1週間後からは録画でもご覧いただけます。

現在天童市議会として積極的に取り組んでいる議会改革特別委員会の開催予定、市議会議員の紹介、平成17年度以降の議会だより、平成13年以降の定例会・臨時会の会議録などもホームページから確認できます。



9月定例議会の日程(予定)

- 9月19日(水) 本会議 (初日)
- 24日(月) 本会議 (一般質問)
- 25日(火) 本会議 (一般質問)
- 26日(水) 常任委員会
- 27日(木) 常任委員会
- 28日(金) 決算特別委員会
- 10月2日(火) 決算特別委員会
- 3日(水) 決算特別委員会
- 4日(木) 決算特別委員会
- 5日(金) 予算特別委員会
- 9日(火) 予算特別委員会
- 11日(木) 本会議 (最終日)

※請願の締め切りは、9月11日(火)正午までの予定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

●各地に大変な被害をもたらした「梅雨」も、ようやく明けたと思ったら、今度は猛暑が続いています。熱中症にならないよう、健康管理に十分注意しましょう。

●「議会だより」は、年4回定例議会の内容などを掲載し発行しています。市民の皆さんと議会を結ぶ「架け橋」となるものです。誰もが「読みたくなる」議会だよりをめざし、広報委員会で工夫しながら頑張っています。

●特に議案採決で賛否が分かれたとき、議員がどのような判断をしたのか、議員にとって極めて重要なことです。氏名まで掲載すべきでないかと検討しています。

●「議会だより」の内容をさらに良くするために、市民皆さんのご意見をお寄せいただければありがたいです。

- 《広報委員会》
- 委員長 狩野 佳和
 - 副委員長 矢萩 武昭
 - 委員 伊藤 和子
 - 結城 義巳
 - 遠藤 敬知
 - 武田 正二